

冬キャベツ（11月～翌年3月）の需給・価格見通し

1 生産出荷状況

(1) 供給計画

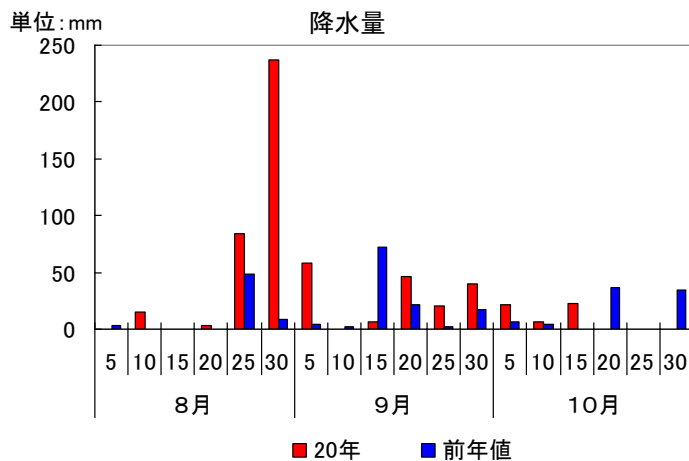
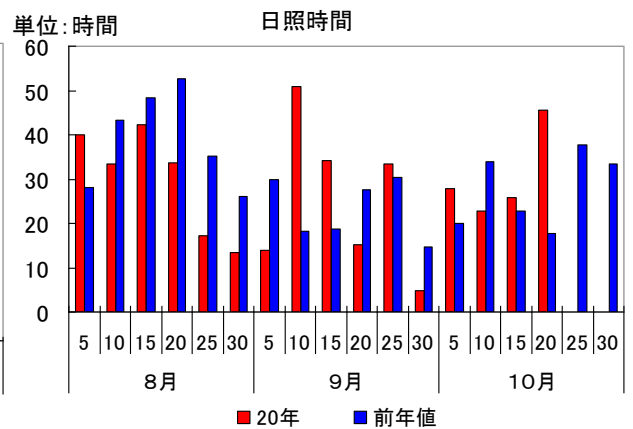
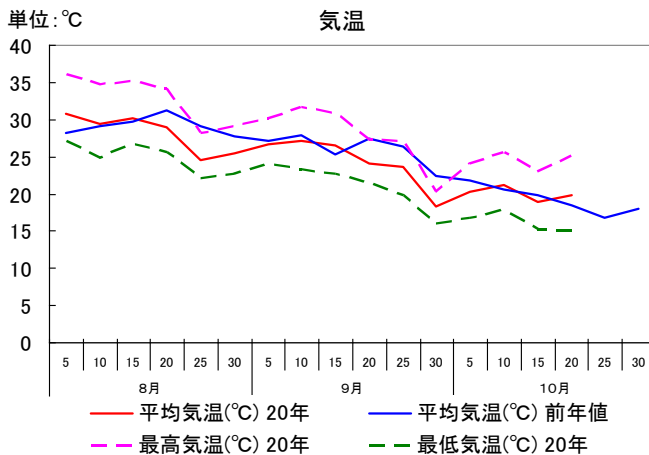
平成20年の冬キャベツの供給計画によると、全農が6月に策定した当初計画では、作付面積は対前年100%（系統共販分）であるが、10アール当たりの収量増を見込み、収穫量103%、出荷量を102%としたところである。確定計画は10月末策定により現在未発表。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
20年	19年	前年比	20年	19年	前年比	20年	19年	前年比	20年	19年	前年比
5,468	5,452	100	4,717	4,600	103	257,909	250,765	103	216,851	213,279	102

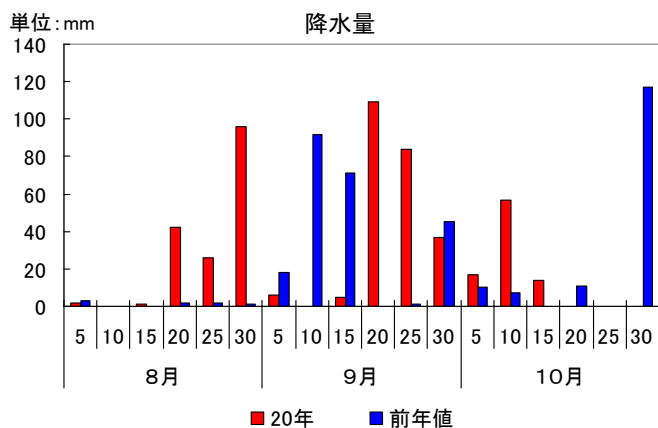
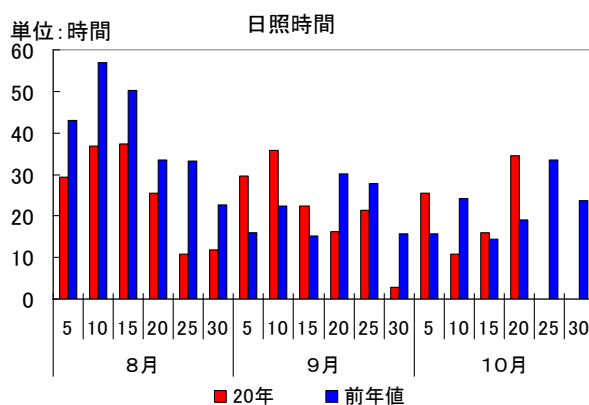
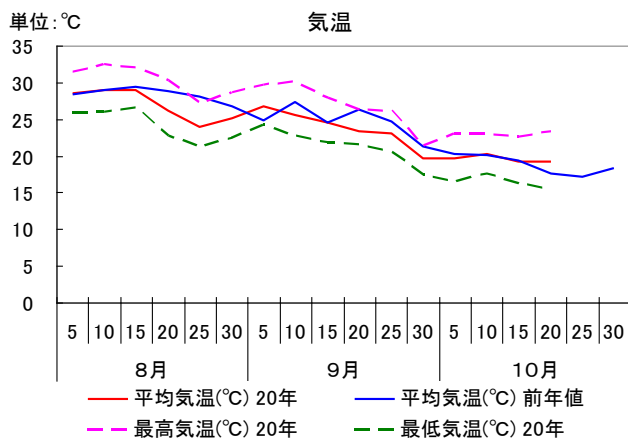
(2) 天候

- ① 主産地の愛知県の平均気温は、8月前半は前年並み、後半以降9月初めまでは前年を下回った。その後、9月半ばまでは前年をやや上回ったものの、後半は前年を下回って推移している。日照時間については、8月は前年を下回り、9月半ば以降前年を下回ったものの、10月に入り前年を上回って推移している。降水量は、9月半ばに前年を下回ったものの、全体的には前年を上回って推移している。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：気象庁「AMeDAS」

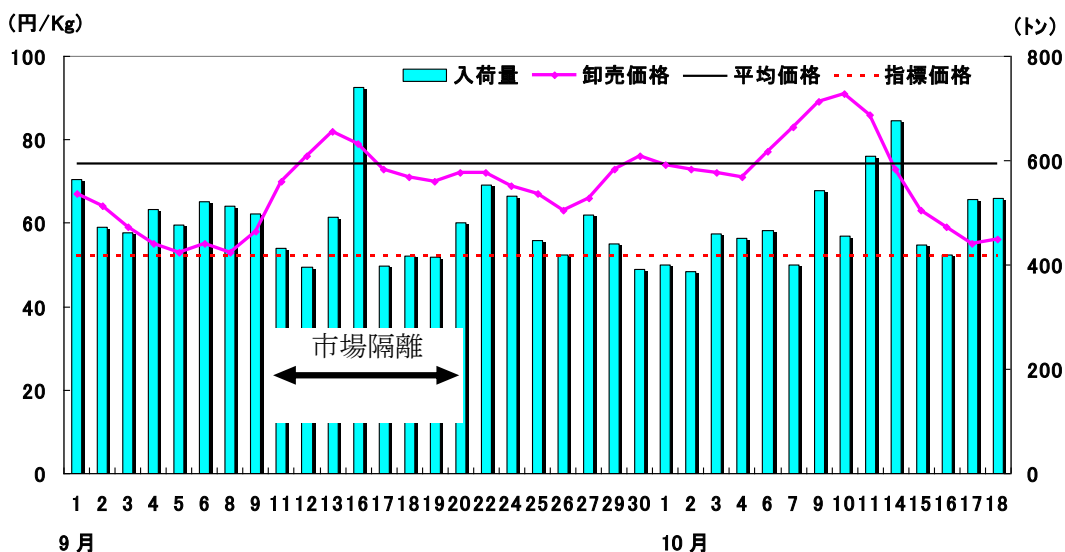
② 同じく主産地の千葉県の平均気温は、8月半ばまでは上旬に前年並みとなり半ば以降前年を下回って推移し、9月初めに前年を上回ったものの、その後は全体的には前年を下回って推移している。日照時間については、8月は前年を下回り、9月前半は前年を上回った。9月半ば以降は前年を下回り、10月に入り前年を上回る推移となっている。降水量は、9月前半に前年を下回ったものの、全体的には前年を上回った。



(3) 生育・出荷状況及び今後の見通し

- ① 昨年の価格は平年並みであり、作付け意欲に対しては中立的と考えられる。
- ② 供給計画の当初計画では収穫量は対前年比 103%であり、出荷量は対前年比 102%である。
- ③ これまでのところ主産地では天候は良好であり生育は順調である。
- ④ 3 か月予報では主産地がある東海地方のこの時期の平均気温は高い確率が 50%、関東地方のこの時期の平均気温も高い確率が 50%であり、生育が前進化する可能性がある。

キャベツの日別卸売数量と価格の推移
(東京都中央卸売市場)



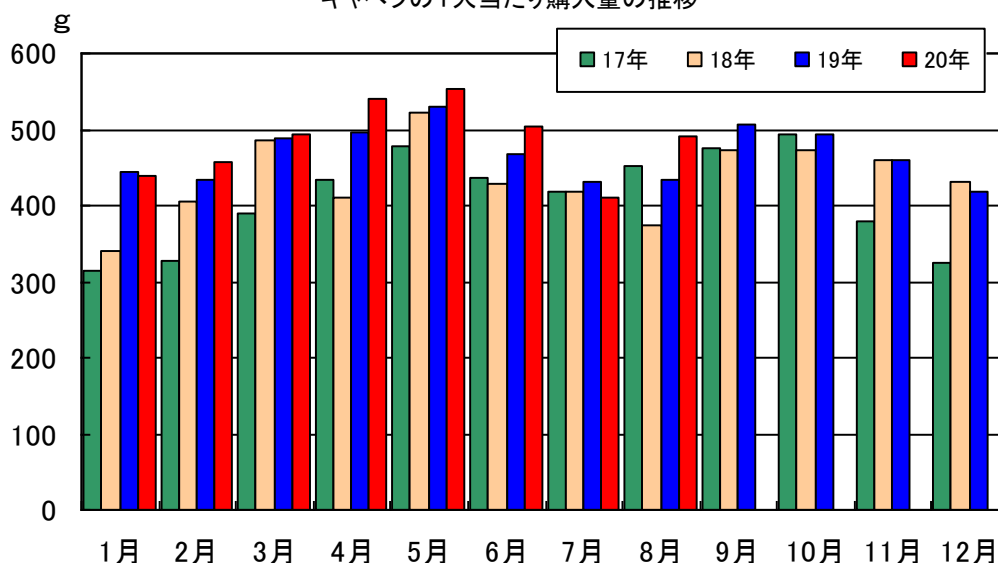
資料：農林水産省統計情報部「青果物日別取扱高統計結果」

2 需要動向

(1) 家計消費

家計調査によるキャベツの一人当たり購入数量をみると、11月、12月はやや購入量が減少する時期となっている。

キャベツの1人当たり購入量の推移



資料：総務省統計局「家計調査報告」

(2) 加工・業務用需要

キャベツの加工・業務用需要は、全体需要の48%と推定されている。

キャベツの加工・業務用需要の動向

平成2年	平成12年	平成17年
46%	48%	48%

資料：農林水産政策研究所調べ

3 参考

冬キャベツの過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量(t)
S55	11月上旬	9
56	11月中旬～3月下旬	489
57	1月中旬～3月下旬	2,041
58	3月上、中旬	1,518
59	11月上旬～3月下旬	15,482
60	2月中旬～3月上旬	1,026
61	2月上、中旬	11,956
62	12月下旬	1,322
63	11月中旬～3月中旬	3,827
H元		
2	2月上旬	1,309
3	11月上旬～12月上旬	2,359
4	11月下旬～12月中旬	1,331
5		
6		
7		
8		
9	12月中旬	509
10	11月中旬	87
11	12月上旬	440
12		
13	11月下旬～3月下旬	813
14		
15	11月下旬～12月下旬	6,491
16	11月上旬～12月上旬	1,006
17		
18	12月上旬～3月上旬	8,840
19	2月上旬	700